



所在地 〒254-0047 平塚市追分1番43号（福祉会館内）
TEL 0463（33）1377
FAX 0463（33）6588



タウンニュース社イベントサイトレリアにて情報発信中
<https://rarea.events/feature/hiratsukasyakyo/>

発行/社会福祉法人
平塚市社会福祉協議会
公式URL
<http://www.hiratsukasyakyo.jp/>



平塚市社協フェイスブック

検索



回覧

令和2年9月
(2020年)
133号

自然災害への備えは万全ですか?!!

1923年(大正12年)9月1日、関東大震災が発生。震災の教訓を忘れないという意味と、この時期に多い台風への心構えという意味を含めて、1960年(昭和35年)に、9月1日は「防災の日」として制定されました。近年、自然災害による甚大な被害は増加をたどる一方です。今年の夏も豪雨による被害が、多くの地にもたらされました。この日を機会に改めて、災害に対する日頃の備えを確認してみたいはいかがでしょうか。

災害リスクを正しく認識しよう

ご自宅のある場所に、どんな災害のリスクがあるか理解していますか？

お住まいの市区町村等が公表している災害リスクに関する情報(水害ハザードマップ、津波浸水想定区域図、火山防災マップ、土砂災害警戒区域図など)を確認し、自宅のある場所にどんな災害リスクがあるのか、また災害時にどこに避難すればいいのかも確認しておきましょう。

“3つの約束”で「もしも」の備え

話し合っておきたい3つの約束

突然の災害。皆さんは「もしも」の時にとるべき行動や集合場所、連絡方法を家族や大切な人と話し合っていますか？

もしもの時に備えて、決めておきたい約束は次の3つです。

約束1:災害発生時どう動く？

地震発生時は、物が「落ちてこない・倒れてこない・移動しない」エリアへの移動やシェイクアウト行動等をし、揺れが収まるのを待ちましょう。

台風や豪雨のときは、決して河川等には近づかず、建物の上階層への「垂直避難」を行いましょう。

慌てた行動は大きなケガをする可能性もあるため、心がけておきましょう。

約束2:どこで会う?どう逃げる?

避難勧告や避難指示が出たときには、速やかに避難場所に移動できるよう、予め位置などを確認しておきましょう。

約束3:どう連絡を取り合う?

災害発生時には電話がつながりにくくなります。安否確認等の通信手段として比較的つながりやすい災害用伝言サービスや、メール等を積極的に活用していきましょう。

もしものときの備蓄に加え、家族で話し合っておきましょう。



災害時…大切なのはたすけあい!～災害ボランティア活動にご協力を～

もし災害が起きてしまったとき、基本は「自助・共助・公助」です。自分自身や周囲の安全を確認した上で、災害ボランティア活動等(下記URL)の支援活動にご協力ください。

<https://www.saigaivc.com/volunteers/>(全国社会福祉協議会 被災地支援・災害ボランティア情報)

※ その他防災に関することは、下記URLを参照してみてください。

<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/bousai/sonae.html>(首相官邸ホームページ 防災の手引 災害への備え)

赤い羽根共同募金がスタートします

今年も10月から共同募金運動がスタートします。人びとが温かい心を通わせあい、その優しさを大切に、福祉を向上させていくことを目標とし、「つながりをたやさない社会づくり」を全国共通テーマに掲げ、展開いたします。

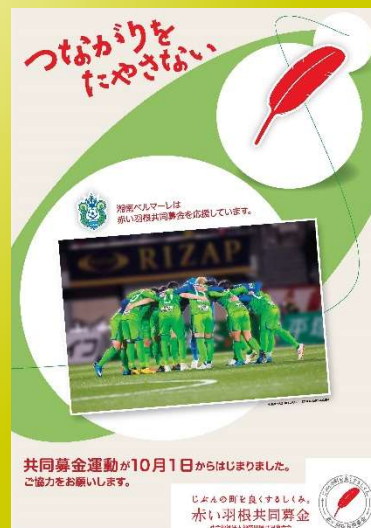
新型コロナウイルスの影響は、高齢者や障がい児者、生活困窮者など、すべての福祉分野にも及んでいます。災害支援において、被災地での感染拡大防止のため、人的支援が得られず、地元の方々だけの災害ボランティア活動が行われています。

コロナ禍で人と人との接触する機会が減少したことにより、私たちは日々誰かとつながり、支え合ってきたことの大切さを改めて気づかされております。

集まった募金はコロナ禍における支援事業や災害支援事業とともに、地域福祉のために活用させていただきますので、ご協力お願いいたします。

併せて共同募金会平塚市支会では、令和2年7月豪雨災害等の義援金を受け付けております。ご協力をお願いします。

問い合わせ：神奈川県共同募金会平塚市支会 TEL33-1377



健康わんぱいと

今年も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクを着けることがあたりまえになっており、熱中症になってしまうリスクが高くなっております。

そのような状況の中、皆様の体調はいかがですか？

マスク使用中は喉の乾きに気づきにくくなります。こまめに水分を摂るようにしてください。また、人が密集しないところではマスクを外し、熱中症にならないよう気をつけましょう。



平塚市暮らしサポート相談より

生活・仕事・病気等でお困りの方に平塚市社会福祉協議会の専門スタッフが寄り添いながら、他の専門機関と連携して解決に向けた支援を行います。何かお困りごとや不安がありましたら、まずはご相談ください。

問合せ：TEL21-8813

平塚市暮らしサポート相談
平塚市役所1階128番窓口

相談日時：月～金 午前8時30分～午後5時

災害備蓄品の寄附のお願い

平塚市が地震や台風等で被災地となった際、災害ボランティア活動に必要な物品の備蓄を進めています。しかし、まだまだ十分な備蓄量ではありません。

【災害備蓄品】

土のう袋、スコップ、ブルーシート、防塵マスク、ゴミ袋、一輪車、高圧洗浄機、ボール、デッキブラシ、タオル等

※ 個人・法人の方で、ご寄附をご検討の際は、下記までご連絡ください。

問合せ：TEL33-0007

地域福祉推進課ボランティアセンター
月～金 午前8時30分～午後5時

あたたかい善意をありがとうございました 令和2年6月～7月

寄附金は地域福祉事業を行う上で大きな支えとなっています。下記種類のほか、事業指定のご寄附も可能です。今後とも皆様のご寄附をお待ちしております。

【社会福祉基金へ 合計5件 288,000円】平塚市では昭和56年度から、社会福祉の事業に充てるべく社会福祉基金を創設し、ボランティアの育成や地区社協活動の充実、低所得世帯援護事業等に活用されています。磯崎輝夫2件 (一社) 神奈川県公営競技弘済会 (福) 進和学園しんわ本人自治会 匿名1件

【児童福祉へ 合計3件 44,000円】匿名3件



「福祉だよりひらつか」は皆様からの賛助会費と赤い羽根共同募金により発行しています。